

伊原五郎兵衛

伊原五郎兵衛



舌に代へて諸子に告ぐ

嗚呼社員諸子よ、毎日御苦勞様です。段々暑氣も加り、氣候も悪くなるから第一身体を大切にして下さい。今日こなつては健康を保つ事が何より一番大切です。諸子の父母妻子、兄弟、姉妹の方々は皆んな、諸子の犠牲的奮起に快感を持ち、社會の絶大な同情に安心して居られます。諸子がホントウに毎日／＼骨身を碎いて働きを続けるのには、全く同情に堪えません。が一面顧みて諸子の使命の重大な事と、貴重な事を考へる時は内心に何とも云ひ得ぬ慰安と愉快があるのを吾々は信じて居ります。如何に遊んで居ても精神の苦痛や呵責があつては到底も人間は煩悶に耐えられるものでは有りません。如何ですか。諸子が一日の労務を了へて静かに寝に就き、そして一日の社會奉仕的任務を果しやレ／＼と思つて眠る其時の心持は……天は正義人道の爲めに働く人に必ず幸するものであります。

重ねて申します。諸子は身体を大切にして保健に注意して下さい。サヨナラ

大正十五年五月卅一日

伊原五郎兵衛